

事務事業名		県総合防災システム運営管理参画事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	危機管理G	課長名	安部 昭彦	
	施策名	(17)消防・防災対策の推進		担当者名	勝平 誠	電話番号	0854-40-1027 (内線) 2351	
	目的・対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。				
	基本事業名	(049)避難体制の確立		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的・対象	市民	意図	非常時に避難行動がとれる。				中事業	中事業名
				0:1:4:5:0:2			災害対策総務管理事業	
				0:5:2:5:2:6			県総合防災システム運営管理費負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
島根県、県内各自治体他、防災関係機関で災害情報を総合的に共有するシステムを運用している。雲南市では専用端末が総務部に1台配置してある。また、更新に併せインターネット回線を通じて個人のパソコンからアクセス可能になっている。消耗品のなものを除き、県が維持管理し、その運営資金を県及び県内各自治体で負担している。災害時における被害報告をこのシステムを使って迅速に関係機関へ情報提供することができ、島根県による的確な情報把握及び状況対応が期待できる。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	27年度実績(27年度に行った主な活動)		28年度計画(28年度に計画する主な活動)			
		負担金の支払い 毎月操作訓練を実施 システム点検(業者)年2回		負担金の支払い 毎月操作訓練を実施 システム点検(業者)年2回			
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
	ア システム点検回数	回	4	6	12	12	
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	総務部危機管理室職員	ア 防災担当職員数	人	4	4	4	4
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	
災害発生時に備え、常時システムが正常に稼働するよう保守・点検する。	ア システム障害を起こした回数	回	0.0	0.0	0.0	0.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)	
島根県への負担金 9,891千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			6,500	4,100
		その他	千円				
		一般財源	千円	3,063	3,122	3,391	3,123
	事業費計(A)	千円	3,063	3,122	9,891	7,223	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
延べ業務時間		時間	42	42	224		
人件費計(B)		千円	164	163	877		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,227	3,285	10,768			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成20年度から新しいシステムで運用され、平成22年度には一度負担金の金額が軽減された。しかし、平成27年度に県のネットワークシステム再生事業(アナログ無線をデジタル無線に更新)により負担金額が大幅に増加された。	運用方法などについては、県との協議しながら改善し、操作訓練をすることにより、有事の際に有効活用できるように努めている	システム操作上の不具合について、訓練を通じて県に改善を毎回要求している。

事務事業名	県総合防災システム運営管理参画事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	システムの運用方法について検討する必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	県からの迅速な防災情報が得られなくなり、災害時に支障をきたす。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		県全体のシステムであるため、他の手段にすることはできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
評価 の 総 括	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		県全体のシステムであるため、県と全市町とで協議が必要となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		必要最小限の業務を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
評価 の 総 括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		全県下のシステムであり、市内全域を対象としている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		平常時は使用していないが、災害等発生時に島根県等との連携を図るためには、有効な手段である。
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				